

令和2年2月宮崎県定例県議会

情報化推進対策特別委員会会議録

令和2年3月11日

場 所 第5委員会室

令和2年3月11日（水曜日）

午前9時58分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告（案）について
 3. その他
-

出席委員（11人）

委員	長	重松	幸次郎
副委員	長	窪	菌辰也
委員		蓬	原正三
委員		横	田照夫
委員		右	松隆央
委員		二	見康之
委員		日	高陽一
委員		内	田理佐
委員		満	行潤一
委員		岩	切達哉
委員		坂	本康郎

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

政策調査課主査	甲	斐	健一
総務課主幹	三	浦	洋文

○重松委員長 それでは、ただいまから、情報推進対策特別委員会を開会いたします。

本日の協議に入ります前に、皆様に御協力をお願いいたします。御承知のとおり、本日で東日本大震災発生から9年を迎えました。そこで、当委員会といたしまして、この震災で亡くなられた多くの方々の御冥福を祈り、ただいまから

黙祷を捧げたいと存じます。皆様の御起立をお願いいたします。それでは、黙祷。

〔起立、黙祷〕

○重松委員長 お直りください。それでは御着席ください。

それでは、本日の委員会の日程についてですが、お手元に配付の日程案をごらんください。

本日は、委員会報告書と委員長報告案について御協議いただきたいと思います。このように取り進めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○重松委員長 それでは、そのように決定いたします。さっそく、協議に入らせていただきます。

まず、協議事項（1）の委員会報告書についてです。委員会報告書につきましては、既に皆様の御了解をいただいているところでありますが、3月13日の定例会最終日に、議場にて3つの特別委員会報告書を合冊して配付させていただきますので、御了承いただきたいと思います。

次に、同じく、定例会最終日の本会議で行います委員長報告案についてであります。委員会報告書を要約した上で、作成したものをお配りしております。御意見等がございましたら、お願いをいたします。

○右松委員 本県の現状、それから課題と目指す方向性がきちんと明記されていますので、ばっちりだと思います。

○重松委員長 ありがとうございます。（発言する者あり）他に何かございましたら忌憚のない御意見を申し上げます。暫時休憩します。

午前10時01分休憩

午前10時01分再開

○重松委員長 委員会を再開いたします。

それでは、御意見もないようですので、案のとおり報告を行うこととしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○重松委員長 それでは、そのように決定いたします。最後になりますが、協議事項（3）のその他で、委員の皆様から何かございませんでしょうか。

○横田委員 非常に勉強になったいい委員会でした。ありがとうございました。（発言する者あり）

○重松委員長 では、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○重松委員長 それでは、これで当委員会の全ての議事を終了したいと思います。閉会に当たりまして、正副から、一言御挨拶を申し上げます。まず、窪菌副委員長にお願いしたいと思います。

○窪菌副委員長 1年間、短い間ではございましたが、日々いろいろ進化する中で、こういったICTなり、AIなり、そういったものがあらゆる分野で利活用されていくんだと、また、将来についてもそういったものがいろいろ展開していきだろろうというようなことを学んだところでございます。大変勉強になったと思っておりますし、私自身も特にスマート農業等については印象深いものがありました。そういったことで、未来に向かって5Gあたりが導入されていくのかと思いますと、本当に楽みな展望が開けていくんだろろうなというようなことで期待をしているところでございます。皆様方におかれましては、来年度はまた違った形で会うこともありますし、また違うメンバーになると思いますけれども、よろしくお願い申し上げます。

て、1年間、大変ありがとうございました。

書記におかれましても大変ありがとうございました。（拍手）

○重松委員長 それでは私のほうからも一言御挨拶申し上げます。

皆さん本当に1年間ありがとうございました。皆さん方に本当に支えていただいて、忌憚のない御意見をいただきながら、このような素晴らしい報告書並びに委員長報告案をつくらせていただきました。13日、しっかりこの皆さん方の思いを受けながら報告してまいりたいというふうに思います。窪菌副委員長はじめ委員の皆様、それから両書記に本当に支えていただきました。御礼申し上げます。

お話にもありましたとおり、Society 5.0、また5Gという新しい科学技術の進化の中でこのような委員会が持てたことは、これからの県勢発展のためにも、大変重要なきっかけになったなというふうに、つくづく感謝をしておるところでございます。また、次の機会にもこの報告をベースにしっかりとまた取り組んでいきたいという考えております。1年間、大変お世話になりました。また、今後ともよろしく願いいたします。（拍手）

それでは、以上をもちまして、情報化推進対策特別委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、1年間、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

午前10時4分閉会

署 名

情報化推進対策特別委員会委員長 重 松 幸次郎